

障害者の地域生活の確立のため！今こそ変えよう！

「障害者自立支援法」10.26 北海道フォーラム開催要綱

～ 来年の見直しと総選挙を直前に ～

1. 目的

2005年10月31日、「障害者自立支援法(以下、自立支援法)」は、国会で成立しました。

そして翌年4月から応益負担が導入され、10月からは、障害程度区分に基づく支給決定や地域生活支援事業を含む新サービス体系が始まるなど全面施行となり、この3年間で、障害者の暮らしやサービス提供者および介護労働者に大きな影響をもたらしてきました。

この間、示された一昨年の特別対策事業と昨年の緊急措置は、自立支援法の実施によって、明らかになった現場の課題への対策として示されたものでした。

そして、今、自立支援法は、その附則に基づき、来年の見直しに向けた検討が始まっています。また、来月上旬に実施されるといわれる衆議院選挙結果が、この見直しなどにも、大きな影響をもたらすと予想されます。

今回のフォーラムは、自立支援法が施行されてきたこの間の現状から、以下の項目に関する検証と議論を進め、来年の見直しに向けて当事者や現場の声を地域から発信し、その課題が改善されることに寄与することを目的として開催します。

- (1) 「障害者の定義」と「障害程度区分」について
- (2) 障害者の地域生活をささえるための「障害者のニーズ」と「サービス基盤の整備」および「福祉人材の確保」について
- (3) 「地域間格差」と「国の責任」について
- (4) 「費用負担」と「所得保障」および「就労」について

2. 主催 「障害者自立支援法」10.26 北海道フォーラム実行委員会

3. 後援 北海道 札幌市 (社福)北海道社会福祉協議会
(社福)札幌市社会福祉協議会 (社団)北海道社会福祉士会

4. 日時 10月26日(日) 13:00～16:45

5. 会場 北海道自治労会館 5F 大ホール (札幌市北区北6条西7丁目)

6. 定員 350名

7. 参加費 500円(介助者で資料を必要としない場合は無料)

8. 締切 当日、会場でも受付します。

9. 内 容

12:30 開 場

13:00 開 会

開会挨拶 「障害者自立支援法」10.26 北海道フォーラム実行委員会
実行委員長 小谷 晴子

13:15 報告「介護労働の現場から社会保障構造改革について考える」

報告者 北海学園大学経済学部准教授（労働経済学） 川村 雅則 氏

13:45 パネルディスカッション

「どうなる？どうする？どうなった？私たちの暮らしとサービス」

パネリスト ハローENJOY 岩見沢施設長 橘 正樹
NPO 法人トライ夢 紺野 順子
北海学園大学経済学部准教授（労働経済学） 川村 雅則 氏
北海道保健福祉部福祉局障害者保健福祉課
計画調整グループ主幹 松岡 宏昌 氏
コーディネーター DPI 北海道ブロック会議議長 西村 正樹

16:45 閉会挨拶

10. 問い合わせ先

D P I（障害者インターナショナル）北海道ブロック会議

住 所：〒062-0008 札幌市豊平区区美園 8 条 1 丁目 3-23 コーポリボンハウス

T E L : (0 1 1) 8 4 2 - 9 3 3 7 F A X : (0 1 1) 8 4 2 - 9 3 3 0

E--mail : info_hokkaido@dpi-japan.org URL : <http://www.dpi-japan.org/hokkaido/>